学校番号	209

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文演習 B	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	なし						
副教材等	「ニューエイジ　現代文必修２」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・広い学問分野にかかわる、あるいは現代社会のさまざまな問題を扱った文章を、問題演習という形式で読み解き、文章の内容を理解するとともに、文章読解の方法を学ぶ。
・演習問題の読解を授業の中心に据え、発展的な問題の「読み方」と「解き方」の習熟をめざす。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
広い学問分野にかかわる、あるいは、現代社会のさまざまな問題を扱った文章を読みこなすための語彙力を養う。また、「現代文」の頻出テーマ（科学、言語、文化・宗教、哲学・心理、近代など）に関する基本的な理解の定着をめざす。
【思考力、判断力、表現力等】
さまざまな種類の文章を正確に読解し、その内容を言葉で的確に表現、説明できるようにする。また、読み取った文章を批評し、その内容を他者に伝え、さらには他者の批評にも耳を傾けることで、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	広い学問分野にかかわる、あるいは、現代社会のさまざまな問題を扱った文章を読みこなすための語彙力を養う。	さまざまな種類の文章を正確に読解し、その内容を言葉で的確に表現、説明できるようにする。また、読み取った文章を批評し、その内容を他者に伝えられるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	読解法① 【教材】 「ニューエイジ　現代文必修2」	a:文章を読みこなすための語彙力を身につけることができている。 b:[読]読解した文章を批評し、的確に内容を理解している。 c:読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	授業態度 接続語 段落分け 定期テスト	授業態度 キーワードの把握 理由説明 文脈把握 定期テスト	出席状況 課題提出
	読解法② 【教材】 「ニューエイジ　現代文必修2」	a:文章を読みこなすための語彙力を身につけることができている。 b:[書]読解した文章の要点などについて的確に書き表すことができる。 c:読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	授業態度 接続語 段落分け 定期テスト	授業態度 キーワードの把握 理由説明 文脈把握 定期テスト	出席状況 課題提出
二学期	読解法③ 【教材】 「ニューエイジ　現代文必修2」	a:文章を読みこなすための語彙力を身につけることができている。 b:[読]読解した文章を批評し、的確に内容を理解している。 c:読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	授業態度 接続語 段落分け 定期テスト	授業態度 キーワードの把握 理由説明 文脈把握 定期テスト	出席状況 課題提出
	読解法④ 【教材】 「ニューエイジ　現代文必修2」	a:文章を読みこなすための語彙力を身につけることができている。 b:[話/聞]正確に読解し、言葉で的確に表現・説明できる。 c:読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	授業態度 接続語 段落分け 定期テスト	授業態度 キーワードの把握 理由説明 文脈把握 定期テスト	出席状況 課題提出
三学期	読解法⑤ 【教材】 「ニューエイジ　現代文必修2」	a:文章を読みこなすための語彙力を身につけることができている。 b:[読]読解した文章を批評し、的確に内容を理解している。 c:読書に親しみ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	授業態度 接続語 段落分け 定期テスト	授業態度 キーワードの把握 理由説明 文脈把握 定期テスト	出席状況 課題提出

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１４　）時間

・書くこと　…　（　１４　）時間

・読むこと　…　（　４２　）時間